



# ROCK FIELD

R E P O R T

第 4 6 期 の ご 報 告

2017年 5月 1日 ~ 2018年 4月 30日

The Mirai Salad Company

ROCK FIELD

証券コード：2910

## 株主の皆様へ



代表取締役会長  
岩田 弘三

本年5月に日本惣菜協会から発表された「2018年版 惣菜白書」によりますと、昨年2017年の中食の市場規模は前年と比べて約2%増加し、初めてついに10兆円の大台を超える数字となりました。中食市場拡大の背景には、女性の社会進出や共働き世帯の増加などのライフスタイルの変化によって家庭における惣菜の利活用が促進したことに加え、当社のような惣菜の専門店だけでなくコンビニエンスストアや食品スーパーなどの惣菜の販売強化が大きく影響しています。また、近年ではドラッグストアなど業態を越えた新規参入も見られるようになってきました。

このように中食を取り巻く環境が大きく変化する中、当社は「The Mirai Salad Company」として、日本の食の未来を考え、サラダを通してそうざいの可能性を追求し、「食と健康」という新たな価値創造に取り組んでまいりました。昨年のクリスマスには、毎年店頭において大混雑の中で、お買い物をしていただくお客様の大変さを少しでも解消できるようにと、WEBや電話での事前予約に新たに取り組んだことで、予約注文数を大きく伸ばし、売上高の伸長に繋げることができました。営業利益につきましては、競合他社の新規参入や、全国的な天候不順・異常気象を原因とした野菜の生育不良による野菜の大暴騰をはじめ、原材料の価格高騰の影響もありましたが、第46期末におきまして昨年を上回る結果を達成することができました。多くのお客様、株主の皆様のご支援・ご愛顧に感謝申し上げます。

当社は、昨年末、神戸ヘッドオフィスに新しい創造型開発の拠点「クリエイション・ラボ」を整備し、新しいそうざいの価値創造にチャレンジしていきます。神戸ファクトリーでは、新たに生産技術開発ラボを設けて、料理品群の強化を図るとともに、少子化時代、人材確保難を見据えて、パッキングした完成品の生産・出庫ラインなど生産フロアを増床

しています。静岡ファクトリーにおいては、サラダカンパニーの基幹ファクトリーとして野菜の持つチカラを最大限に活かしサラダ化・そうざい化する技術や、商品のクオリティを高めるための「野菜研究所」を創設するなど、積極的な設備投資を行ってきました。これらの取り組みが、今後の更なる業界の競争激化に対応する当社の競争力の源泉となり、また、店舗における人材確保難などの課題への対応策となることと思っています。

今期は、野菜を中心とした健康的な食事として、食事の最初にサラダを食べる「サラダ・ファースト」の考え方に基づいた商品提案や、サラダに料理をプラスした買い合わせ提案を通じて、お客様の食卓を豊かにする“コト提案”を徹底的に実践していきたいと考えています。今日のそうざいだけでなく、もう一品、明日・明後日にお召し上がりいただく商品をお買い上げいただくためにも、日持ちのする商品の開発強化にしっかりと取り組んでまいります。そのことが、結果として客単価アップによる当社の成長に寄与するだけでなく、簡単・便利な食品としての惣菜とは異なる価値をもつ“健康的で、美味しく、食卓を豊かにするそうざい”が体と心の健康を増進し、未来の食を支える社会貢献にもつながっていくのではないかと思います。

これからの社会環境の変化をチャンスと捉え、私たちの持つ経営資源を効果的に活用し、全社を挙げて、より品質の高い商品提案、豊かな食の提案を行うべく邁進して参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご愛顧、ご協力をお願い申し上げます。

2018年7月

# 財務ハイライト

| point |

1

当社は、「The Mirai Salad Company」として、サラダを通してそうざいの可能性を追求し、「食と健康」という新たな価値創造に取り組んでまいりました。

| point |

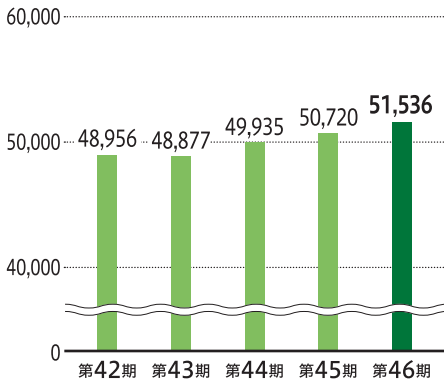
2

クリスマスなどの歳時記、記念日などハレの日に合わせて商品提案、素材や調理法にこだわった季節商品の販売強化に取り組みました。あわせて店頭だけでなく、WEBや電話での事前予約に新たに取り組む、売上高の伸張に繋げました。

## 売上高

**51,536**百万円  
(前期比**1.6%**増)

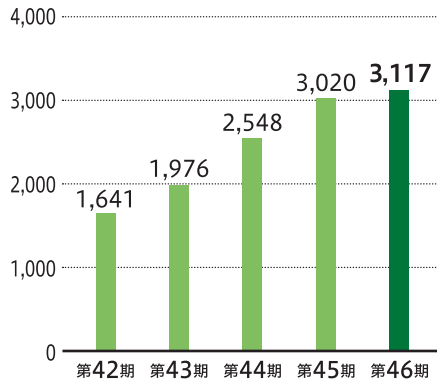
(単位:百万円)



## 営業利益

**3,117**百万円  
(前期比**3.2%**増)

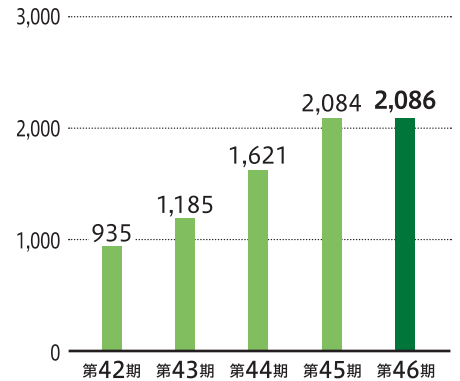
(単位:百万円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益

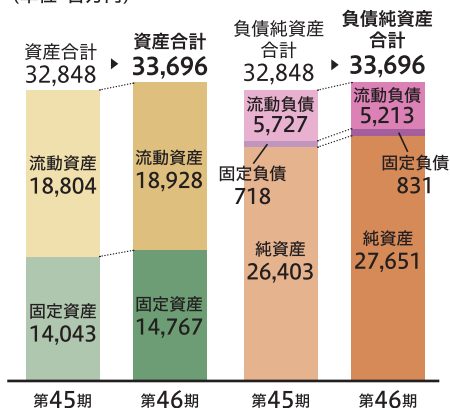
**2,086**百万円  
(前期比**0.1%**増)

(単位:百万円)



## 連結貸借対照表の概要

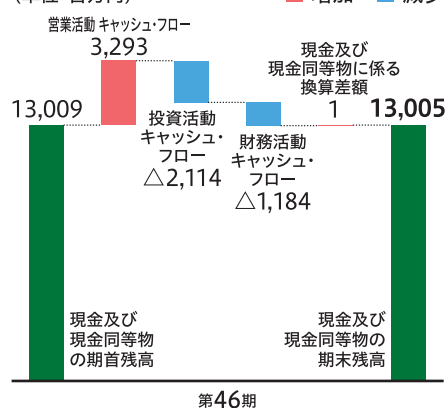
(単位:百万円)



〈第46期末〉自己資本比率 82.1%  
1株当たり純資産額 1,041.08円

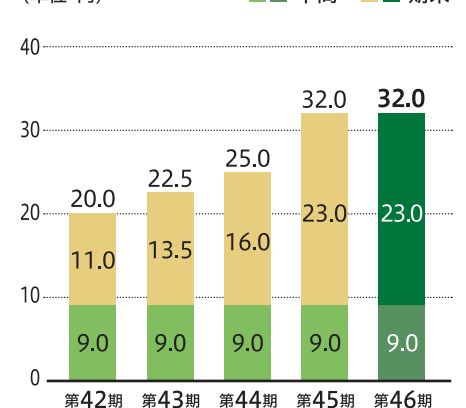
## 連結キャッシュ・フローの増減要因

(単位:百万円)



## 1株当たり配当

(単位:円)



※当社は、2016年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。第44期以前の配当額については、当該株式分割を考慮した調整値を記載しております。



# ブランド別売上高概況

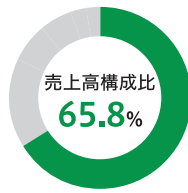
第46期(連結)

**R1  
F**  
SOZAI

アール・エフ・ワン

156店舗

売上高 **33,889** 百万円  
(前期比**0.8%**減) ▽



- 25周年を迎えるにあたり、そうざいを通じて「食と健康」をテーマに、サラダを中心とした食生活・習慣の提案を行い、「野菜のチカラで生きていこう。Veges Energy」のメッセージを発信しました。また、翌日以降に召し上がることができるストック料理や温めて食べるサラダとして加熱野菜のサラダの提案を行いました。
- 業態変更の影響により、売上高805百万円がRF1からグリーン・グルメの売上高となりました。



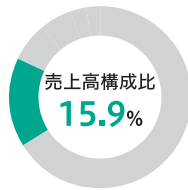
帆立とアスパラガスのサラダ 塩バターソース

**Gg**  
Green gourmet

グリーン・グルメ

57店舗

売上高 **8,177** 百万円  
(前期比**19.8%**増) ▴



- セレクトショップとしてRF1のサラダを中心とした品揃えに、いとはん、融合のサラダ・料理の販売強化を行いました。特に週末など繁忙期に料理の食卓提案を行ったことで、お買い上げ点数アップにも繋がりました。
- 第43期より進めている、RF1からグリーン・グルメへの業態変更による売上高への影響がありました。



牛肉のグリル 霜降りひらたけのロースト添え

いとはん

いとはん

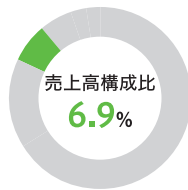
日本のさらだ

いとはん

日本のさらだ いとはん

31店舗

売上高 **3,548** 百万円  
(前期比**6.1%**減) ▽



- 「この国の人 この国の食」をテーマに、現代の食卓に新しい美味しさや発見のある和食を提案しました。なかでも京都産筍やホワイトアスパラガスを使用したサラダを提案するなど、節句ごとに季節商品を強化する「二十四節気販促」を実施したことが、多くのお客様にご支持をいただきました。



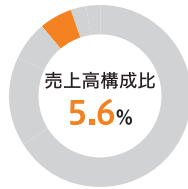
京都産筍使用 焼き筍の和さらだ

**神戸コロッケ**

神戸コロッケ

37店舗

売上高 **2,894** 百万円  
(前期比**1.2%**増) ▴



- コロッケを中心とした品揃え強化策として、神戸開港150年販促として創業時の味を再現したコロッケや牛肉をたっぷり使用したコロッケなど高価格コロッケや、春の新玉ねぎ、夏の枝豆、秋のきのこ・ゴボウ、冬の蓮根・下仁田ねぎなどの季節素材を使用したコロッケの提案を行いました。



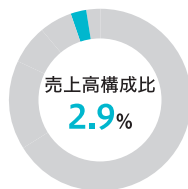
神戸ピストコロッケ ローストビーフ&ポテト

**VEGETERIA**  
Real veges, real fresh juice.

ベジテリア

26店舗

売上高 **1,502** 百万円  
(前期比**2.8%**減) ▽



- 「KENKOサポート」をテーマに、夏には疲労回復に効果的なGABA、クエン酸+ビタミンCを使用したジュースや、食欲の秋に気になる糖質を考慮した低糖質ジュース、寒さが厳しくなる時期には免疫力を上げる効果のビタミンA、ビタミンCをたっぷり含んだジュースの提案など、季節の需要に合わせたジュースの販売に取り組みました。



ダブルチャージ ゴールドキウイ&レモン

Asian Food History

融合

Asian Salad

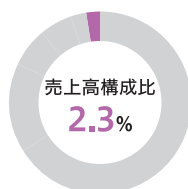
融合

融合

アジアン・サラダ 融合

11店舗

売上高 **1,197** 百万円  
(前期比**1.8%**減) ▽



- 「アジアの食卓」をテーマにしたメニュー提案・食卓提案として、素材の美味しさを引き出すため、「揚げる、茹でる、焼く、炒める」といった調理法を駆使した商品の展開や、アジア料理独特のハーブや調味料を使用した商品の展開を行いました。



焼き筍とヤリイカのサラダ



# 食で「世界の医療団」を応援 ~チャリティーディナーに協賛~



「誰もが治療を受けられる未来を。」

"POUR UN MONDE OÙ CHACUN PEUT ÊTRE SOIGNÉ."

6月12日(火)に東京・広尾にあるフランス大使公邸にて、「世界の医療団 支援者の集い ソワレガラ2018」が開催され、当社も協賛企業としてチャリティーディナーの提供を行いました。

世界の医療団(メデュサン・デュ・モンド)は、1980年に「国境なき医師団」出身のフランス人医師により創設された国際NGO団体で、世界各地に医療・保健衛生分野の専門ボランティアを派遣し、人道医療支援に取り組んでいます。日本では東日本大震災の被災地支援を行っており、世界中の人々が国籍・人種・民族・思想・宗教などのあらゆる壁を越えて医療にアクセスできる社会の構築を目指して活動されています。世界の医療団の日本事務局は、1995年に発生した阪神・淡路大震災をきっかけに立ち上がり、当社は地元神戸の復興支援にも尽力されたその活動主旨に賛同し、2005年のチャリティーディナー開始以来、毎年協賛を続けています。当日は約200人の支援者が出席し、その参加費が寄付金となり、医療器具の購入や手術費用などとして世界の医療団の活動に使用されます。

チャリティーディナーには、日本を代表する31のフレンチレストランやホテルなどのシェフが参加し、全体でコース仕立てとなるよう前菜・魚料理・肉料理・デザートなど各レストランやホテルの趣向を凝らした逸品が並びます。当社は、「The Mirai Salad Company」として、RF1やアジアン・サラダ融合のサラダを中心とした商品を取り揃えました。北海道産コーンやカラフルなトマトなどを使用したフレッシュな野菜のサラダに加え、加熱調理によって旨みを引き出した野菜のバイクドタルトなど、見た目にも華やかなメニューをご提供しました。参加されたお客様は、普段は一般開放されていないフランス大使公邸で、広大な庭を眺めながら、食事とシャンパンやワインとのマリアージュを楽しんでおられました。

今後もこのチャリティーディナーを通じて、日本だけでなく世界中で医療支援、人道支援を求める方々をサポートする取り組みの支援を継続していきたいと思えます。



カラフルトマトとアボカドの  
イタリアンサラダ



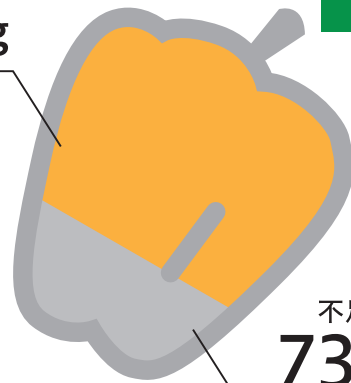
# Salad Firstで もっと健康的な食事を楽しもう

当社が継続してお客様にお伝えしている食習慣のご提案「サラダ・ファースト」。これは、食事のはじめに野菜を食べることで、血糖値の上昇を緩やかにする、健康的な食事の方法をお伝えするものです。

「1日に必要な野菜の量は350g」というのはよく聞くお話ですが、これは厚生労働省が定めた成人の1日あたりの摂取の目安量です。国が行っている国民健康・栄養調査によると、日本人の野菜摂取量の平均値は276.5gで、目標とする350gには足りていない状態です。男女別にみると男性平均は283.7g、女性平均は270.5g、年齢別にみると男女ともに年齢が若い方ほど野菜不足が顕著になっています。

現状  
**276.5g**

1日の野菜摂取  
目安量 **350g**

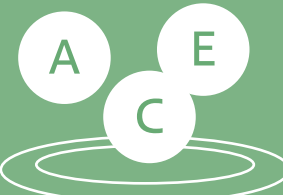


不足分  
**73.5g**

野菜が不足しているという実感があっても、食生活や生活習慣によって、不足している野菜の量や摂取しやすい食事の時間もさまざまです。そこで、ご自身の食生活に合わせて足りない野菜を補える商品をご紹介します。日々の食事の中で、手軽に野菜メニューをプラスする健康的な食生活に、当社のサラダやスープをご活用ください。

商品のラインナップは季節に合わせて随時新しいメニューがお目見えします。ぜひ店頭へ足をお運びください。

## 1/3日分野菜 緑黄色野菜の ビタミンACEサラダ



豊富な商品ラインナップのサラダは、種類や量を自由に選ぶことができる量り売りのサラダと、手軽にお買い求めいただけるパックサラダがあります。

「1/3日分野菜 緑黄色野菜のビタミンACEサラダ」は、ブロッコリー、人参、小松菜などの緑黄色野菜を中心に、フレッシュな生の野菜と、オープンでじっくり焼いて甘みを引き出した焼き野菜を味わうことができ、1食あたりで摂取したい野菜量をこの1皿で補えるメニューです。



## ベジスープ



1食分のスープをパック化した「ベジスープ」は、容器のまま電子レンジで温めてお召し上がりいただくことができるので、忙しい朝にも簡単に取り入れやすいメニューです。「高リコピントマト入りミネストローネ」は、野菜をじっくり煮込んで甘みと旨みを引き出したトマトベースのスープです。また、夏の時期には温めずにそのまま食べられる冷製スープも販売中。日持ちがするので冷蔵庫にストックしていただくことができ、朝のスープで野菜不足を補い、元気な1日のスタートをサポートします。



## 作るを楽しむ SALAD



6月から販売している「作るを楽しむSALAD」は、生ハムやチキンなどのメイン食材と、調理済みのグリル野菜や生野菜、ドレッシングや調味料などがセットになった、ご自宅で盛り付けをしていただくサラダキットです。量り売りのサラダよりも少し日持ちがするうえ、新鮮な材料をカットし下ごしらえをしているので、気軽に華やかなサラダを作ることができます。また、生春巻きのキットには、春雨や蒸し鶏などの具材とライスペーパーがセットになっており、準備要らずで出来立ての生春巻きが味わえます。ご自宅で最後の仕上げをしていただくことで、作る楽しさ、食事の前のワクワク感をお楽しみいただける新商品のサラダは、日々の食事に、また親しい方への手土産としてもおすすめです。



# 第46回定時株主総会 決議ご通知

2018年7月26日開催の当社第46回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

## 報告事項

- 第46期(2017年5月1日から2018年4月30日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 第46期(2017年5月1日から2018年4月30日まで)計算書類報告の件  
本件は、上記の内容及び監査結果を報告いたしました。

## 決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件**  
本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金は1株につき23円と決定いたしました。
- 第2号議案 定款一部変更の件**  
本件は、原案どおり承認可決され、定款第21条の取締役の任期が、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとなりました。
- 第3号議案 取締役7名選任の件**  
本件は、原案どおり承認可決され、取締役に岩田弘三、古塚孝志、細見俊宏、伊澤修、遠藤宏の5氏が再選、中野勘治、門上武司の両氏が新たに選任され、それぞれ就任いたしました。  
なお、中野勘治、門上武司の両氏は社外取締役であります。
- 第4号議案 取締役に対する譲渡制限付株式の割当てのための報酬決定の件**  
本件は、原案どおり承認可決されました。

以上

## 配当金のお支払いについて

第46期期末配当金は、同封の「期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、払渡期間中(2018年7月27日から2018年8月31日まで)に、お近くのゆうちょ銀行又は郵便局でお受け取りください。また、配当金の口座振込をご指定の方は、同封の「期末配当金計算書」及び「配当金振込先ご確認のご案内」によりご確認ください。

## 株式の状況

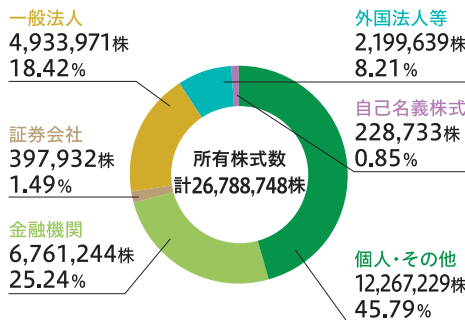
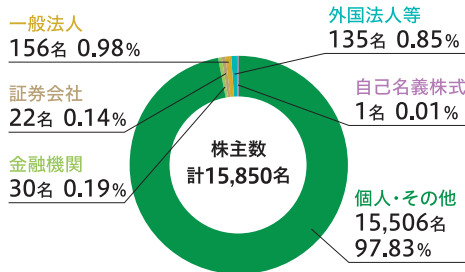
(2018年4月30日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	26,788,748株
単元株式数	100株
株主数	15,850名

### 大株主

株主名	持株数(株)
株式会社岩田	2,300,000
明治安田生命保険相互会社	1,312,600
ロック・フィールド取引先持株会	1,282,980
株式会社四国銀行	1,242,920
岩田弘三	784,200
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	549,600
ロック・フィールド社員持株会	537,294
三菱UFJリース株式会社	482,064
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	414,300
株式会社みなど銀行 政策投資口	413,120

### 所有者別分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年5月1日から翌年4月30日まで  
定時株主総会 7月  
剰余金の配当基準日 期末 4月30日 中間 10月31日  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関  
連絡先 〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部  
電話(通話料無料)0120-094-777  
上場証券取引所 東京証券取引所  
公告方法 電子公告(<http://www.rockfield.co.jp/>)ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

住所、氏名のご変更、単元未満株式の買取請求・買増請求等のお手続に関するお問い合わせ、お手続に必要な書類のご請求等はお取引の証券会社までご連絡ください。また、特別口座で管理されている株式に関するお問い合わせ等は上記株主名簿管理人(特別口座管理機関を兼任しております)連絡先までご連絡ください。

## 会社情報

### 会社概要 (2018年4月30日現在)

社名 株式会社ロック・フィールド  
設立 1972年6月8日  
神戸 〒658-0024  
ヘッドオフィス 神戸市東灘区魚崎浜町15-2  
TEL.078-435-2800(代表)  
FAX.078-435-2805

資本金 55億44百万円  
従業員数 1,547名  
子会社 岩田(上海)餐飲管理有限公司  
株式会社コウベデリカテッセン

### 役員 (2018年7月26日現在)

代表取締役会長 岩田弘三 社外取締役 中野勘治  
代表取締役社長 古塚孝志 社外取締役 門上武司  
専務取締役 細見俊宏 常勤監査役 岡吾郎  
常務取締役 伊澤修 社外監査役 奥田実  
取締役 遠藤宏 社外監査役 石村孝男